

広 報 おおだて

10月16日号

(No.423)

9月

交通事故・件数	25件(190)
傷者	27件(242)
死者	0件(4)
火災・件数	2件(17)
救急・回数	103件(876)
()内は1月からの累計	

編集と発行 大館市役所総務課

市の木・秋田杉 市の花・キク

食欲の秋 ナベツコ遠足を 楽しむ



▲城西小学校の六年生は、米代川の河川敷へ。メニューは、カレー、きりたんぼ鍋、トン汁など(10月3日)



▲上川沿小学校は、全校児童でナベツコ遠足。きりたんぼ鍋を作りました。(10月6日)

秋の行楽シーズンを迎え、市民の森や長根山などはグループや家族づれてにぎわっています。
十月三日には城西小や南小、一中、六日には上川沿小などでナベツコ遠足が行われ楽しい秋の一日を過ごしました。子供たちは、自分たちが作ったきりたんぼ鍋やカレー、トン汁を「おいしい、おいしい」と連発しながら腹いっぱい食べ、食欲の秋を満喫していました。

“つくって 使って
育てよう わが郷土品”

第7回大館市 郷土品まつり

とき・11月1日～5日
ところ・中央公民館
市民体育館
卸売市場
婦人の家ほか

◆行事の内容は8面にあります。

「主人が、四年前から裏の庭をきれいにしたいということで草花を植え始めました。いろいろの花を植えています。特に菊の花の美しさに魅せられ、今では七種類ほどになっています。この花は、ほとんど近所の方たちに分けています。」

田村ミエさん(十二所)



菊

“花の好きな方を募集”——広報「花歳時記」に登場していただく花作りの好きな方を募集しています。自薦、他薦を問いません。どうぞ広報係(☎49-3111内線259)へお知らせください。



子に贈る 大きな遺産 下水道

快適な環境づくりを目指す公共下水道

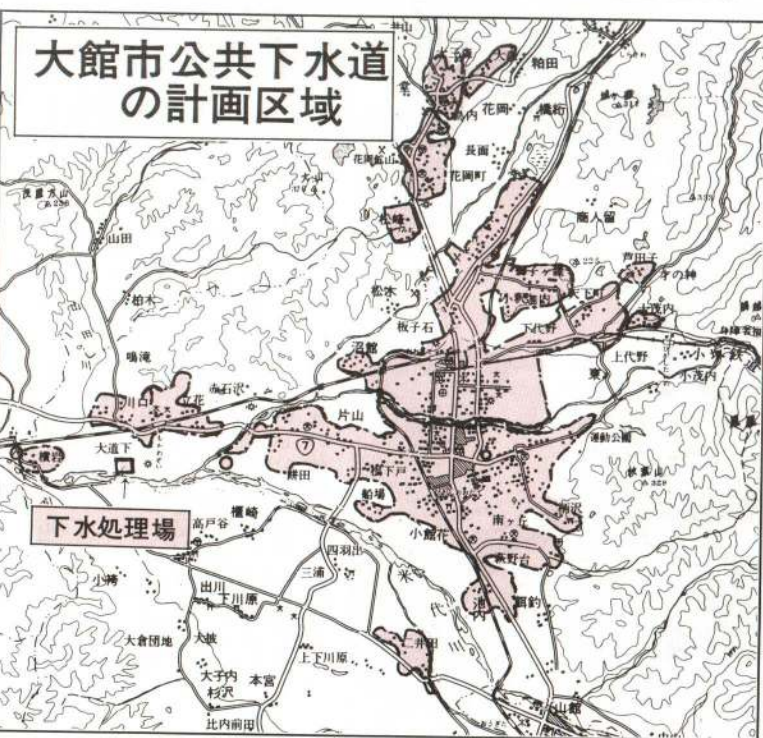
雨水や家庭、工場からの汚水などをきれいに処理する緑の下の力持ち——下水道は、健康で明るい街づくりには欠くことのできない施設で、近代都市のパロメーターともいわれています。しかし、日本では下水道の歴史が浅いこともあってまだまだ普及が遅れています。暮らしの安全と清潔を保ち、川や海の汚れを防ぐ下水道の実現に向けて、当市では昭和六十二年から事業に取り組みことになりました。今号では五十九、六十年で策定した「大館市公共下水道基本計画」のあらましについてお伝えします。

市では総合開発計画に基づいた「安全で快適な生活環境が保たれている都市」づくりに向けて、昭和六十二年度から都市施設として公共下水道事業に取り組みことになり、その準備を進めています。

豊かな自然を守る下水道

私たちが文化的で快適な生活を営むための水は、いろいろな形で使用されています。

しかし、一度使った水は、なんの手だてもせずに河川に捨てられて、水質を汚濁したり、環境を破壊したりしています。水は、私たち人間だけのものではありません。動物や植物など自然界すべての大切な資源であると同時に財産でもあるのです。そのために私たちが使った汚れた水は、下水道を通して、もとのきれいなものにして自然に返さなければなりません。下水道は、このように壊れゆく自然のサイクルを正常な形にするために役立つのです。



水道を早急に整備していかなければならないのです。下水道の建設促進は自然と資源を守る私たちの義務でもあるのです。

清潔な街をつくる下水道

下水道は、私たちの生活環境を安全で快適なものにするために必要な施設です。

下水道は、街中の雨水を取り除き、大雨や台風などの浸水を防ぐ働きをします。また水洗トイレが使えるようになり、汚いどぶや溝も整備されて街並みがすっきりし、カやハエの発生を防ぎ伝染病の予防にも役立ちます。

市長の対話ノート

自分の原点



No.141

産業構造や円高を含めて不況の真ただ中にあるだけに思います。企業は人なり、というだけに先人のいう「読み」「書き」「ソロバン」の大切さが、いま改めて考えさせられます。

「読み」とは読書ということ、先を見る(予測する)ことの意味があります。読書は作者の創造にふれることであり、創作の前兆でもあります。先人の歴史書の中から先々を読むことも、まねではなく教えられるものが多いということ。

「書く」ことは、正しい創作である習作ということもなくはないが、それは例外であって、自作がすべてであります。書くことを創造を育てる始まりではないでしょうか。

「ソロバン」とは計算であり、経営の初歩であります。数字に弱くは経営は成り立ちません。高度の計算はともかく、約束事の数字を追えば済むことです。

数字を正しく管理し、創造する感覚を強めよ。それが先人の教訓です。それに更に現代版の「情報」(この中に国際化も含めてよいのでは)を加えれば万全です。

ここまでは出来ませんが、次は「行動」です。これが一番の弱点です。成功、失敗があるからです。そこに生命を賭ける「自分の原点」があります。

伊山 健治郎

公共下水道の基本計画

五十九、六十年年度で策定した「大館市公共下水道基本計画」は次のとおりですが、具体的な計画は都市計画審議会や国、県、市議会と協議しながら決定していくこととなります。

下水道計画は、県が担当する「米代川流域下水道事業」と市の担当する「大館市公共下水道事業」の二つに分けて行われます。

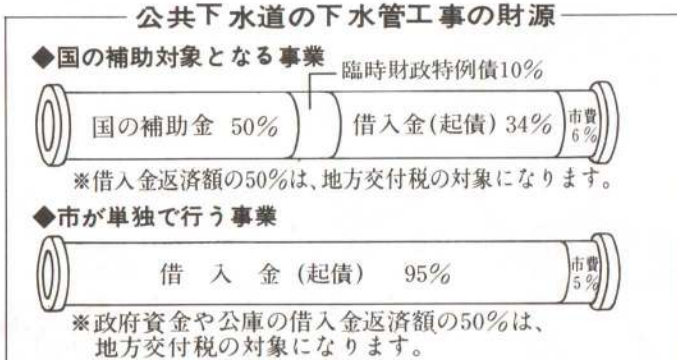
大館市 公共下水道事業

計画区域と目標年次
面積 千八百八十ヘクタール
人口 五万五千人
完成目標年次 昭和八十年
第一期計画 百三十ヘクタール
・計画人口 六千人
・完成目標 昭和六十七年度

事業内容
市は、県が埋設した流域下水道までの路線と枝線、污水ポンプ場を設置します。
▽維持費は
汚水処理に要する維持費は、下水道を利用する皆さんに負担していただき、雨水の処理費用は市が負担します。

米代川流域 下水道事業

県が事業主体となって、大館市川口字中川口地内（食肉センターの西方）に下水処理場を建設し、当市と比内町、田代町の汚水を共同処理します。また主要幹線（一市二町から下水処理場まで）の下水管工事と中継ポンプ場も建設します。その建設費はおよそ百五億円、国、県、一市二町で負担し、維持管理費は一市二町の負担となります。



数期に分けて 20年計画で

市が計画している処理区域の全部に下水管を埋設し、污水ポンプ場を建設すると、およそ四百五十億円もの巨費となり、数年間で全工事を行うことは、物理的にも予算的にも無理です。このため市では、数期に分けて、およそ二十年で完了する計画をたてています。

▽建設費の財源は
下水道事業には巨費を要しますが、その財源は上の図のとおりです。また、県の事業となる流域下水道は昭和六十一年度から八十年までの計画です。

昭和67年度には 一部使用開始

市では、六十七年度から公共下水道の一部を使用開始できるよう準備を進めていきます。
それまでの間に第一期工事の区域を定め、この区域から処理場に至る下水管の埋設工事と、区域内の面整備（街の中に家庭汚水を流すことのできる下水管をめぐらすこと）を進めます。
六十七年度からは、面整備の終わった地域から順に下水道の利用が可能になります。

各家庭が つくる施設

家庭や工場などの汚水を公共下水道に排水するためには、私有地

内に埋設する下水管等の排水設備が必要で、とくに、下水処理場で処理する区域では、くみ取り式トイレは水洗トイレに改造いただくこととなります。個人がつくる設備は左図のとおりです。



下水道の 受益者負担は

下水道が整備されるのは市街地です。下水道は、その受益がはっきりしていますので、都市計画法に基づいて市条例を制定し、建設費（市が単独で行う下水管工事費）の一部を受益者負担（一回程度）していただくこととなります。原則として下水道整備区域内に土地を所有する方が該当になります。

市民の皆さんの ご協力を

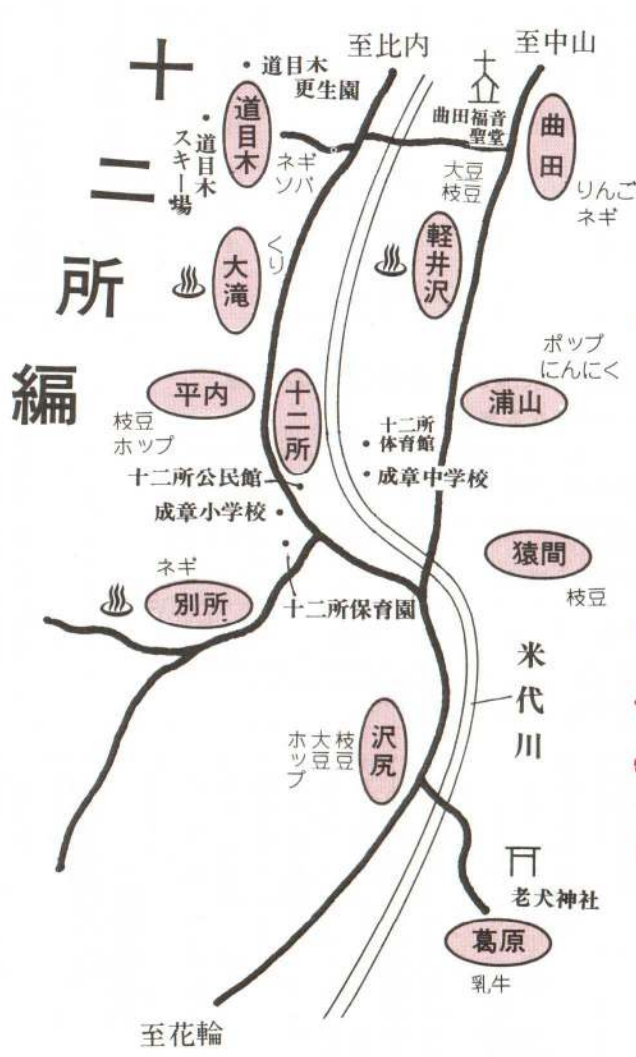
市では「安全で快適な生活環境」の街づくりを目指して、公共下水道事業を推進していますが、多額の建設費や受益者負担、使用料、長期にわたる建設期間など大きな問題がたくさんあります。これらは市民の皆さんのご協力とご理解があれば進展も解決もできないことばかりなのです。これからの事業推進のためによりしくお願いいたします。

下水道が完備すると

- 水洗トイレが処理区域すべての家庭に設置できる
- 川や海の水がきれいになる
- 浸水の不安がなくなる
- 街がきれいになる
- 工場排水は、常に「水質検査」で監視される

☎49-3111内線312

マイタウンガイド



われらサークル仲間

「小春日吟社」
家計簿のやりくり下手と
秋灯下 (竹内うた)
まさげなく
あかげら打つや
霧の朝 (佐藤淳子)
頭を働かせるため、またポケ防
止のためという事で俳句を続け
ているグループで、会員は十人。
「どんな句を作っても、会員の方
々や先生と話し合うことがとても

編

楽しいですし、友だちがたくさん
できました。
「いままでは、ただ歩いてきたと
ころも風景などに注意して歩くよ
うになった。小さな草花にも名前が
あることを知り、句をひろいな
らたたび出歩くようになりまし
た。」と話していました。十二所地
区はむかしから俳句の盛んな所で、
昭和四十年ごろまで「二六吟社」
が、その後「あじさい吟社」、五
年ほど前から「小春日吟社」と、
つねに俳句会が続けられている文
化地区です。



まちの話題

りんご無人直売所
曲田地区は、りんごの産地として
知られています。同地区の島山松治
郎さんは、国道一〇三号線沿いに、
「安くて、おいしい」りんごの無人直
売所を設けています。
島山さんは、「一日に四十袋前後出
しています。孫のこずかいと思って
始めました」と話していました。
人気は上々で、一人で五袋以上も
買う人もいるとのこと。しかし、
料金箱の的中味とりんごの数があわな
いこともしばしばとか。「それでも



▲りんごを補充に来た島山松治郎さんの奥さん

多くの人材を輩出した 成章書院



▲成章小学校校庭に建てられた「成章書院跡碑」

成章書院は寛政五年(一七九三)八
月三日久保田(秋田)の御学館からの
申し渡しにより創立されたものです
。当時の教職員は、教授二名、教授
見習六名、目付二名、詰役十四名、
受払役二名、賛学十四名、書記四名
司書四名、門衛二名があたっていました。
学習の内容は、毎月七・十七
が書の講釈、二・二十二日が生徒の会
読指導、五・二十五日は復習指導、十
八日は漢詩の作詩会の指導で、学習
時間は普通の生徒が午前十時から午

後二時までとなっていました。しか
し、お役所勤めやその他の事情のある
生徒は、午後三時から四時までとな
っていました。
この成章書院で学んだ武士の中
には、私塾を開いて一般住民に学問を
教えた人も多く、その数は十数塾を
教え、このようなことから十二所に
は好学の気風が次第に醸成されてい
ったといわれています。
(十二所史跡保存顕彰会編「成章書
院の沿革」から抜粋)

人の良心を信じて無人直売所を続け、
曲田りんごの名を広めたいですね」と
話していました。この直売所は十
月中ごろまで開かれるとのこと。

「成章」の由来

「成章(章を成す)」の語は論語、公治第五から採られたものであり、その意味は「美しいあやの
ある文章をつくる(美しい模様の織物の制作にたとえたとの異説もある)」である。

天神講を再開した

奈良弥一郎さん

(十二所町・75歳)

むかし、十二所の寺小屋には天神様が祭られていました。この寺小屋では年に一回天神講という行事が行われていました。天神講は、八歳の少年から十八歳前後の青年まで十人ぐらいがグループとなり、当番となった家庭へ各自ふとんを持参し、一夜をともにし、翌朝、日の出とともに神社に参拝し、学業の向上を祈願したものです。

しかし、この天神講が戦後すたれてしまいましたが、奈良弥一郎さんが公民館長となってから、むかしのよき行事



▲習字を指導する奈良さん

を」とのことから昭和五十二年に復活させました。毎年六月公民館へ泊まりこみ、上級生が下級生のめんどうを見て習字やゲームなどふだん各家庭では体験できないことをしています。奈良さんは、「できることなら十二所全体の天神講でなく各町内ごとに実施を望みます。よい意味での「ガキ大将」を中心とした活動で、「いじめ」などという問題も少なくなり、子供会本来の活動につながるのではないのでしょうか。」と話していました。

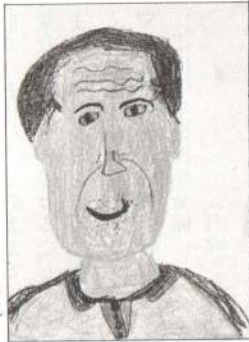
ちびっこギヤラリー



はが せいこちゃん
いっしょに寝てくれる
やさしいおばあちゃん。



ささきりょうくん
おじいちゃんにゲーム
おをいっばい買ってく
れる。



十二所保育園



たむらゆみちゃん
おかあさんの作るごはん
はおいしいよ。



ミニ・ガイド

▽北鹿ハリストス正教会
曲田福音聖堂

明治二十五年、熱心なハリストス教の信者であった曲田の畠山市之助氏が私財を投じて建てた聖堂です。この聖堂を見学されたい方は教委社会教育課(内線255)か畠山勇太郎さん(☎52-3606)に事前に申し込みください。

▽道目木更生園

精神薄弱者更生施設、昭和四十九年十二月開設。

▽道目木スキー場

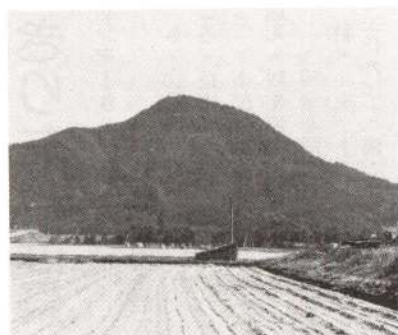
同スキー場は、道目木地区の奥に位置し、ボラスタリフトが設置されています。

▽老犬神社

葛原地区にあり、マタギである主人を助けた老犬シロを祭っています。

禪(ふんどし)と下駄(げた)を

奉納する三哲神社



▲三哲山遠景

三哲神社には千葉秀胤が祭られている。秀胤は、二戸(岩手県)の生まれといわれ、幼少から賢い子で、青年期に江戸に出て武芸・医術・文学を学び、一人前の医者となって三哲・玄秀と号したため、人々から三哲様と呼ばれた。

三哲は、寛文五年(一六六五)に大湯に来て、翌年十二所に移り医を開業する。かたわら武芸も教授した。あるとき国老梅津半左衛門が十二所に来て治療を求め、その才を藩主に伝えた。藩主は三哲を召し出して弓矢の術をためし、その見事さに感動し二百石で召しかかえようとしたが従わなかった。大工の術を学びに来た武田三益の祖に、大工は年老いと役に立たないからと医学を教授した。武田家が以来医家として十二所が続いた基であるという。

十二所城代塩谷民部重綱が重病のとき、三哲の治療を受けて全快したが、約束の謝礼米を払わなかったため、三哲は年貢米を取り押えて貧民に分けあたえてしまった。また、町の富豪佐藤儀右衛門は欲が深く、妻の難産を治療してもらったのに約束通り代金を払わなかったため、三哲は儀右衛門の運送米を取り押えて人々に分け与えた。こういう豪気反骨の三哲をけむたがる人々は、捕手を差し向ける機会をねらっていた。旧六月十五日、十二所の病家から薬代のお礼として酒と肴を贈って、だまし討ちにししようと計画を立てた。計画とは

知らない三哲は、大いに酔って大滝神社前の浴場に入っているとき、三人の腕ききの武士に押えられた。十二所に運ばれる途中、捕手の一人福助に水を求めながら「蝦夷ヶ森の前山に葬ってくれ。三年のうちには祭らなければ十二所の町を焼く。自分分は日ごろ恩にも報いるし、仇にも報いる。もし自分の言う通りであったら霊があるものとして祭れ」といったという。三哲は官の取り調べに一切抗弁せず、六月十七日刑に就いた。町民、特に上新町の住民が願って、遺言通り蝦夷ヶ森に葬り、数年後に神社を建立した。それから蝦夷ヶ森を三哲山、社を三哲神社と呼ぶようになった。

(大館市史第四巻から)

年金コーナー

サラリーマンの奥さん

いま手続きをしなければ
年金はもらえませんか

今年の四月からスタートした新しい年金制度は、二十歳から六十歳になるまで、すべての人が国民年金に加入し、すべての人に国民年金から基礎年金が支給されることになりました。

厚生年金や共済年金に加入しているサラリーマンに扶養されている奥さん(健康保険証や共済組合員証に名前が載っている奥さん)

野外スポーツ施設は

11月9日まで開場

市の野外スポーツ施設は、十月末日で閉場することになっていますが、今年十一月九日まで延長します。なお十一月分の使用受け付けは、十月二十二日からです。どうぞご利用ください。

施設名・長根山運動公園体育施設

及び大館球場

申し込み及び問い合わせ

社会体育課 ☎42103110

秋田県芸術祭

総合美術巡回展

県内在住者の、本年度の美術各部門における優秀作品(県展特賞、主要中央公募展等受賞・入賞作品約九十点)を展示します。皆さんのご来場をお願いします。

は、国民年金に加入手続きをすることにより、自分で国民年金の保険料を納めなくても、自分名義の年金を将来受けられます。

市内のサラリーマンの奥さんで約三百人の方がまだ加入手続きをしていません。このままでは、将来なんの年金も受けることができません。老後の安定のために、すぐに加入手続きをしましょう。

▽加入手続き及び問い合わせ
市保険年金課年金係

(内線239)



とき・10月29日～11月3日

午前10時～午後7時

ところ・中央公民館展示室

戦傷病者等の

奥さんへ

戦傷病者等の妻に対する特別給付金支給法が改正されたことにより、現在支給している方は新たな手続きが必要となりました。

十月二十日から、市福祉事務所社会係(内線208)で受け付けますので、お早めに手続きしてください。

青年海外協力隊

秋の募集

資格・20歳～35歳の方

試験・一次(筆記) 1月11日

二次(面接) 2月中旬

「福祉年金証書」を交付します

問い合わせ・市保険年金課(内線239)

対象地区	雪沢	大館	大滝	十二所	真中	上川沿	二井田	下川沿	釈迦内	矢立	長木	花岡
11日	11日	10日	7日	6日	6日	6日	6日	6日	5日	5日	11月	11月
雪沢簡易郵便局	市民ホール	市役所	大滝集会所	十二所公民館	真中公民館	上川沿公民館	二井田公民館	下川沿公民館	釈迦内公民館	矢立公民館	長木公民館	花矢支所
9時30分 11時30分	13時 15時30分	9時30分 12時	13時30分 15時30分	9時30分 11時30分	13時30分 15時30分	13時30分	11時30分	9時30分	15時30分	13時30分	11時30分	9時30分
	沼松館	大館地区及び 沼松館	大滝・道目木 曲田・軽井沢						沼松館を除く			

職種・農林水産、加工、土木建築、保守操作、保健衛生、教育文化、スポーツ

説明会・11月6日(木)

午後6時～8時

秋北ホテル

問い合わせ先

県企画調整課国際交流担当
☎018816011912

市民の善意

▽老人ホーム扱い

美容組合 美容奉仕

石垣テルさん(中山) 果物(ナシ)

市老人クラブ連合会 枝豆

東北ビル管財 菓子

日本たばこ産業大館営業所 菓子

曲田寿さん(軽井沢) 誕生菓子

石井俊六さん(桂城) きのこ

クマに注意!!



秋になってクマの出没が増えてきます。土目内、別所、小袴、陣場、十二所真山岱、矢立峠下内沢の畑や山林でクマを見かけたという情報が市に入っています。ピクニックやきのこ採りなどで入山する際には、十分に注意してください。

- ・二人以上で入山すること。
- ・ラジオや笛などで音を出しながら入山すること。
- ・子グマのそばには親グマがいるので、絶対近よらないこと。

勤労青少年ホーム

開館20周年記念

「ホーム祭」

▽10月24日(金)

・20周年記念式典、祝賀パーティー

▽10月25日(土)

・オープニングセレモニー

・カラオケ大会・食べるマツチ

・フィーリングカップル

・フォークダンス・福引抽選会

〈その他の催し物〉

・少林寺護身術・お茶会

・ビデオ上映・喫茶コーナー

・和裁展・生花展など

※両日とも午後7時から行います。

楽しい催し物がいっぱいありますので、ぜひおいでください。

問い合わせ・勤労青少年ホーム

☎4210872

きりたんぼ祭

◇サンデーきりたんぼ鍋会

材料即売所を設置

とき・10月19・26日

ところ・長木川市民ひろば

市民の森休憩所

申込先・観光協会(☎4214360)へ

現金を添えて毎週金曜日まで

材料・1セット5人前3,000円

(市民ひろばで、鍋・七輪貸出500円)

◇公開座談会

「きりたんぼの本場とはなにか」

とき・10月21日(火)午後2時

ところ・中央公民館

健康カレンダー

保健センター ☎42~9055

〈健康相談日〉

- 11月5日(水) 真中公民館
- 6日(木) 花岡 //
- 10日(月) 釈迦内公民館
- 10日(月) 保健センター
- 17日(月) 矢立公民館
- 17日(月) 十二所 //
- 20日(木) 下川沿 //
- 25日(火) 二井田 //
- 25日(火) 上川沿 //
- 26日(水) 長木 //

じかん・午前10時～午後3時

〈乳幼児健診〉

区分	月日	受付	対象(誕生日)
3カ月児	11/4(火)	午後1時～2時	61年7月11日～20日
	11(火)	午後1時～2時	7月21日～31日
	18(火)	午後1時～2時	8月1日～10日
6カ月児	4(火)	午前9時30分～10時	61年4月11日～20日
	11(火)	午前9時30分～10時	4月21日～30日
	18(火)	午前9時30分～10時	5月1日～10日
1歳半児	7(金)	午後1時～2時	60年4月1日～15日
	20(木)	午後1時～2時	4月16日～30日
3歳児	6(木)	午後1時～2時	58年10月1日～15日
	14(金)	午後1時～2時	10月16日～31日

場所・いずれも保健センター
※母子手帳を持参してください。
3歳児健診は尿検査も行います。



〈予防接種〉

◆ツ反・BCG

生後3ヵ月から4歳までに1回接種。ツ反検査をして48時間後に判定し、陰性者にはBCGを接種します。

ところ・保健センター

ツ反	BCG	対象者
10月22日(水)	10月24日(金)	各年1、2月生まれ
28日(火)	30日(木)	// 3、4月生まれ
29日(水)	31日(金)	// 5、6月生まれ

◆三種混合

2歳から4歳までに1期3回、2期1回接種します。

とき 10月21日(火) 23日(木)
ところ 保健センター 花岡公民館

※予防接種の受付時間は、保健センターが午後1時20分から2時、花岡公民館が午後1時30分から2時までです。

当日は自宅で体温測定し、母子手帳をご持参ください。

〈一般健康診査〉

大館地区に住んでいる40歳以上の方で、職場や事業所などで検診を受ける機会のない方を対象に、一般健康診査を行っています。

実施期間 10月22日(水)まで

検診料 無料

※実施病院については、10月1日号の広報といっしょに配付されたチラシをご覧ください。

詳しくは保健センターへお問い合わせください。

〔雇用保険にご加入を〕

大館公共職業安定所では、雇用保険への加入を呼びかけています。労働者を雇用している事業所は、必ず雇用保険に加入しなければなりません。(ただし、五人未満の農林水産業は任意加入です。)

▽雇用保険の事業

- ・失業した場合の給付事業
- ・失業の予防や雇用の安定・改善のため事業主に対する助成金事業
- ・雇用促進住宅建設等の福祉事業

▽加入手続き
手続きは事業主が行うこととなりますが、商工会議所や社会保険労務士に委託することもできます。

加入手続き及び問い合わせ

大館公共職業安定所

☎42-2531(内線13)

〔建設省能代工務事務所 創立50周年記念映画会〕

能代工務事務所は、今年創立五十周年を迎えることとなりました。これを記念して、建設事業について地域住民の皆さんに広く理解していただくために、映画会を開催いたします。河川や道路の写真の展示も行いますので、多数のご来場をお願いいたします。

とき・11月8日(土)

午後1時～5時

ところ・中央公民館視聴覚ホール

〔上映映画〕

米代川(能代工務事務所制作)

生活と道路(関東地方建設局制作)

海峽(東宝株式会社制作)

監 督・森谷司郎

キャスト・高倉健、吉永小百合

森繁久弥 ほか

お祝い電報 お得な打ち方

お祝い電報を配達日の十日前から三日前までに打つと、百五十円の割り引きになります。「配達日指定のお祝い電報」といってお申し込みください。なお、大安日と金曜日、土曜日の「115番」は大変ごみあいますので、お急ぎで

秋田の名工展 職業訓練展のご案内

現在活躍されている優良技術者の作品の展示と、職業訓練生の作品を展示するほか、名工の実演も行います。
とき・10月23日(木)～26日(日)
ところ・秋田駅前、ほんきん西武

婦人会館だより

◇テレホン リサイクル

〔譲ります〕

水着(婦人用)、礼服(男性用冬物)、事務用机、二段ベッド、兄踏みミシン、電気釜、衣類乾燥機、編機、ストープ、スキー靴、乳母車、自転車、子犬、ズボン・セーター(3、4歳女の子用) ほか

〔譲ってください〕

学生服、キャビネット、ファッショニス、洗濯機、電気釜、ミシン、掃除機、足踏みミシン、冷蔵庫、ストープ、ガスオーブン、流し台ガスコンロ、ピデオデッキ、スキー靴、乳母車、プランコ、ベビーベッド、オルガン、レコード(森昌子)、ピアノ、絵本、自転車(小学生男子用、子供用、婦人用) ほか

◇大館リコーダー コンソート演奏会

10月1日現在

とき・10月25日(土) 午後6時30分

ところ・婦人会館ホール

出演者・日下部 順昭、石田 康彦

八代 廣文、戸枝 正樹

佐藤 孝弘

曲目・五重奏曲第一集から

(A・ホルボン作曲)

「愛の鶯」から

(F・クーブラン作曲)

ほか

協力金・三百円(コーヒー代として)

婦人会館 ☎49-7028

～ 10月は「高齢者雇用促進月間」です。～

伸ばそう定年、つくろう雇用延長制度を！ 雇うなら、即戦力の高齢者を！

大館の歴史散歩

遺跡と遺物 ⑦

北海道の土器文化

昭和四十七、八年の「片山館コ」発掘調査において、大館地方では見られない数点の土器片が、堅穴群に伴って発見された。暗黄色の堅くしまった焼成の良好な土器で、それは五世紀末から六世紀前半に、北海道全域に発達した江別Ⅲ式土器である。

近年、青森県垂柳遺跡から、弥生時代中期の水田跡が発見され、東北地方北半部でも紀元一、二世紀のころに、水田稲作農耕が行われていたことが確認された。同じころ、大館地方にも水稲農耕文化が受容されたとみてよいだろう。

しかし、その後、水稲農耕文化がどのように発展したかは、現在のところ不明であるといわなければならない。その後の時間経過の中で、六世紀前半ごろに、狩猟採集文化である江別式土器文化が南進して、津軽海峡を渡り、仙台平野の江合川流域に達する東北北半地域に濃密に拡大する。

採集文化の南進を引き起こしたという説、などが述べられている。基本的には、この北方の狩猟採集文化は、仙台平野江合川流域を境界に、南からの古墳文化(日本古代国家)と対峙していた。

「片山館コ」遺跡では一、三層規模の小堅穴を「コ」字型に配した堅穴群(集落と呼べるかどうかは現在のところ判断としない)を構えた、北方的文化要素を強くもつ集団が、長木川を望む「タテ」状の台地に、六世紀前半ごろに住んでいたようである。

市役所史跡探訪会



この現象は、四七世紀ごろの全地球的寒冷化による、水稲農耕の南への後退に伴う、狩猟採集文化の北からの南進が原因という説や、日本古代国家の確立により、その中心地に強大な農耕社会が生まれた結果、陸・海の自然産物・獣皮・鉱産物などの諸物資を東方に求めた経済的要求に伴い、狩猟



私の本棚

中央図書館新着図書

「警察回り」

本田靖春著 (新潮社)



本書は、著者がパー素娥のバアさんと「天声人語」で名文家の誉れ高い深代淳郎と共に生きた「警察回り」時代を再現したもの。昭和30年代前半は、警察回り記者にとって最後の良き時代で、支配する気分は「無頼」だったという。

◆ 一般書 ◆

- ◇ジャーナリズム博物誌 (バルザック)
- ◇殺人紳士録 (J・H・H・ゴータ)
- ◇漢字の話 (藤堂明保)
- ◇漫才作者秋田實 (富岡多恵子)
- ◇金ぴか時代のアメリカ (ガットマン)
- ◇花園の迷宮 (山崎洋子)
- ◇おかあちゃん二人いない (江戸家猫八) ほか

◆ 児童書 ◆

- ◇歌あそび百科 (一木昭男ほか)
- ◇パパのいない転校生 (ベックマン)
- ◇すからおちたこすずめ (オットー)
- ◇授業がなかった学校 (伊藤治子)

◆10月のテーマ関連図書コーナーは「職業」です。

◆親子読み聞かせ会

10月17・24・31日、11月7・14日

◆中央図書館の休館日は

10月19・23日、11月3・16・23・24日

◇桂城公園

- ・菊花展 (11月1日～5日)
- ・植木展 (11月1日～5日)
- ・秋田犬展 (11月3日)

◇働く婦人の家「婦人会館まつり」

- (10時～17時)
- 11月1日・お茶会、展示会、バザー
- 食堂コーナー、ダンスの夕べ
- 11月2日・お茶会、展示会、食堂コーナー

◇卸売市場「市場まつり」

- (11月2日 8時45分～12時)
- 市民参加セリ売り、青果・水産物の特価即売
- お祭り広場 (量目クイズ大会、ゲームコーナー、試食コーナーなど)

協賛 行事など

農産物展

商工展

・11月1日～5日
・中央公民館

- (サンアビリティーズ・大館)
- ◇住んでよし心豊かな木の住まい展 (製材品、建具、家具など)
- ◇機械金属品展 (機械器具、刃物など)
- ◇食料品展 (菓子、農産加工品など)
- ◇地酒と清酒文化展
- ◇繊維品展
- ◇鉱業資源と新素材展
- ◇米まつり
- ◇伝統工芸品展 (曲げわっぱと秋田杉桶樽)
- ◇黄金のふるさと展 (金細工の製作実演)
- ◇健康とくらし展
- ◇陶芸展と焼物教室
- ◇林業展 (大館営林署「森林の市」ほか)

—11月1日～3日—

- 11月1日・米消費者懇談会 (13時・中央公民館)
- ・農事発表大会 (15時・中央公民館)
- 11月2日・腕ずもう大会 (10時・市民体育館)
- ・とろろめし大喰い大会 (12時・市民体育館)
- ・地区別演芸大会 (13時・市民体育館)

〈会期中の催し物—市民体育館〉

- 農産物・果樹共進会、生活工夫展、園児と小学生「図画・書道展」、寿作品展、米鑑定会、ちびっこもちつき大会、農畜産物・手づくり食品即売会、食堂ほか

協賛 行事など

わが郷土品

第7回 大館市郷土品まつり

くついで使って育てよう